

◆漁業士活用育成事業

平成14年度漁業士九州ブロック研修会

城 間 一 仁

1. 日時

平成14年8月19日(月) 13:00~17:00

8月20日(火) 9:00~12:00

オブザーバー：水産庁 加藤課長補佐

●パネラー：福岡県 山崎一光

小型底引き網漁獲物(中・小型エビ類)の出荷方法を従来の鮮魚出荷から活魚出荷へ切り替えたことにより、中エビで平均kg単価は約1.4倍、小エビで約1.3倍に向上。

2. 場所

アルカス佐世保 3階 大会議室(長崎県)

●パネラー：佐賀県 吉田善秀

カキの安定した出荷量の維持のためオーナー制を導入。当初(平成7年)は口コミで年間50~100吊だったが新聞に載ったこともあって平成13年には1000吊が3日で完売、今年も1200吊が3日で完売した。3月に1回ほどオーナーに写真を送るなどのオーナーの管理にも力を入れている。

3. 参加者

沖縄市漁協 与那嶺強指導漁業士
平良市漁協 儀保正史指導漁業士
水産試験場普及センター 城間一仁 他48名

4. 内容

(1)開会挨拶

長崎県水産部漁政課 上原憲課長

水産庁研究指導課普及教育班

加藤久雄課長補佐

(2)水産物産地流通機能の強化方策について

中央水産研究所

消費流通研究室 田坂行男室長

・最近の政策議論で浮かび上がった水産産地のあり方論

・多様化する水産物の流通チャンネル

・水産産地で進む質的転換と量的拡大策

・必要となった漁協マーケティングと組織強化問題

・物流環境の変化に対応した産地出荷体制の見直し

・水産物の差別化・ブランド化をどのように考えるか

(3)パネルディスカッション

テーマ：地域における水産物流通・価格改善の取組

コーディネーター：中央水研 田坂室長

●パネラー：大分県 浜松豊信

自ら販路を開拓し、直販することによる安定収入と漁獲物の有効利用への取り組み。ホームページやメールを使った方法、地元のホテルや料理屋に直接おろす方法と月1の朝市への出店。客のニーズが直接聞ける。魚価を自分で決められ、安売りしなくて済む。商品にならなかった魚の需要があるという利点がある。

●パネラー：熊本県 杉本肇

市場に出しても価格が出にくい魚を利用し、八代漁協女性部で「新鮮な原料」「天然素材」「手作り」をコンセプトに煎餅づくりをしている。また、田浦産タチウオのブランド化のため、市場視察、仲買人との意見交換会等を持ったり、出荷組合を組織した。

●パネラー：宮崎県 日高昭彦

「青島どれ」（新鮮な魚として定着していた）のネーミングを掘り起こし、名前の普及とブランド化の取り組みと漁協直販所の設置による価格向上への取り組み。今まで捕れたイセエビはすべて愛媛に出荷（年間15～16t）していたが、昨年はすべて自主販売することが出来た。

●パネラー：鹿児島県 宮内一朗

養殖カンパチや定置で漁獲されたものをインターネットや郵パックで販売。個人の小さなホームページでは限界があるので農産物のブランド品とタイアップした販売をしたい。また、郵パックでは地元郵便局の協力で年末の目玉商品として定着しているし、地域活性化の一環として新聞にも載せてもらえる。カード決済による配達も予定している。

●パネラー：沖縄県 池田元（代読 儀保正司）

シャコガイの販売先や販売価格は生産者毎に異なりそれぞれ各々でしか動いていなかった。そのため、販売価格に大きな差がでたり、流通に関しても漁業者自ら開拓していた。今年の2月に貝類養殖生産部会を結成し、価格や大きさを統一し、できれば一元集荷して消費者へ安定供給できる体制を取り、さらには販路拡大につなげたい。

●パネラー：長崎県 大久保照享

魚価向上対策としてケンサキイカ専用トレー（実用新案取得）を使用して出荷することによる品質の向上とブランド化をはかった。また、壱岐地域ブランド創出協議会を設立し取り扱い基準を決めた。

(4)今後の担い手政策（中核的漁業者協業体育成等）について

水産庁研究指導課 普及教育班

加藤久雄課長補佐

※飛行機の時間の都合のため途中退席

(5)各県漁業士活動状況及び予算

(6)平成15年度漁業士九州ブロック研修開催
予定県 鹿児島県

◎パネルディスカッション

テーマ：地域における水産物流通・価格改善の取組

パネラー：沖縄県 池田 元（養殖業）

・要 旨

私の所属する八重山漁業協同組合は、沖縄県石垣市に位置し、正369名、准106名の計475名の組合員で構成されています。漁業種類は一本釣、マグロ延縄、カツオ一本釣、曳縄、小型定置、カゴ網、刺網、潜水器、矛突、ソデイカ、モズク養殖、ヤイトハタ養殖、シャコガイ養殖と多岐にわたって操業されています。

私はこの数ある漁業種類の中で小型定置網漁業、モズク・ヤイトハタ・シャコガイの養殖と主に養殖業に力をいれて取り組んでおります。モズク、ヤイトハタに関しては以前より組織（研究会・生産部会）を結成しており、生産量や価格・流通先について漁協、生産者との間で会合を持ちながら解決してきました。しかし、シャコガイについては漁業者が各々で取り組んできました。出荷価格については、サイズ・種類により若干異なりますが、1個あたり150円～500円と大きな差があり、流通に関しても漁業者自ら開拓している状況です。

シャコガイの種苗は沖縄県水産試験場八重山支場より購入しています。八重山支場におけるシャコガイの種苗配布数は平成6年に約17万個で、平成11年には約67万個と4倍に増加しています。そのうちの半数以上が八重山漁協のシャコガイ生産者の手にわたっており、八重山はシャコガイ養殖の先進地となっています。しかし、上述したように、販売先や販売価格は生産者毎に異なり、利益を得ている人もいればほとんど利益を得てない人もいます。

そこで、私はこの状況を改善すべく、シャコガイ生産者に呼びかけ、組織を作ることを提案しました。その結果、多くの生産者の賛同を得て、今年の2月に貝類養殖生産部会という組織を結成することができました。現在はまだ、十分な活動ができていません。しかし、タイミングよく今年度の県の新規事業に取り上げられ、結成以来初めての大きな組織活動に取り組む機会を得ました。この事業では我々組織が発展していくための基盤作りをしたいと考えています。例えば今までバラバラだった価格や大きさ等を統一するといったことです。できれば組織内で一元集荷して消費者へ安定供給ができる体制を取り、さらにはこのことを売りにして販路を拡大したいと考えています。

けれども、流通・価格の改善を図るためには、漁業者組織の努力だけでは出来ないことがあります。

例えば、我々が生産活動を行っている石垣市は、飛行場があるものの飛行機が小さく荷物が多い場合は積み残してしまうことがあります。これは、大型飛行機の離発着が可能であれば解決できますが、国、県、市町村などの関係機関の協力を得なければどうしようもありません。ですから、まず、自分たちで出来ることから始めなければなりません。それは、生産者相互で話し合い、協議を重ねることにより問題点をひとつずつ解決していくことです。そして、それにはバラバラだった生産者をまとめることが一番の近道であると考えます。私達が結成した貝類養殖生産部会が今後どのようなことになるかわかりませんが、会員全員で納得行くまで協議し、消費者の意見も取り入れながらより良い養殖業を目指していきたいと思えます。

様式2

1. 平成13年度漁業士活動状況

担当者：沖縄県 城間一仁

事業名	区分※	予算額 (千円)	事業内容	参加及び対象漁業士数	備考
青年漁業士養成講座	国	30	・青年漁業士に必要な研修のための講師謝金旅費	3	
漁業士認定	国	23	・認定委員会における委員の謝金旅費	3	
漁業士ブロック研修会	国	180	・漁業士ブロック研修会への参加旅費	2	
漁業士活動促進事業	国	190	・対馬定置網鮮度保持・流通対策視察	3	
少年水産教室	国	80 28	・モズク・魚類養殖体験学習 ・パヤオ漁体験学習	80 30	
マグロ鮮度保持 意見交換会	県	71	・漁業士を講師として「マグロの鮮度保持について」の講演と水産試験場より情報提供	100	
モズク養殖業 意見交換会	県	77	・漁業士2名よりモズクの養殖についての講演と水産試験場、水産振興課より情報提供	40	

2. 平成14年度漁業士活動計画

事業名	区分※	予算額 (千円)	事業内容	参加及び対象漁業士数	備考
青年漁業士養成講座	国	30	・青年漁業士に必要な研修のための講師謝金旅費	2	
漁業士認定	国	49	・認定委員会における委員の謝金旅費	4	
漁業士ブロック研修会	国	207	・漁業士ブロック研修会への参加旅費	2	
漁業士活動促進事業	国	205	・中核的漁業者協業体育成事業実施状況の視察	2	
少年水産教室	国	50 40	・定置網漁業体験学習 ・市場体験学習	30 50	
マグロヤケ対策 技術開発試験	県	1029	・漁業士2名にマグロヤケ対策技術開発試験を委託する	2	

※区分欄には国庫補助、県単独等の区別を記入してください。

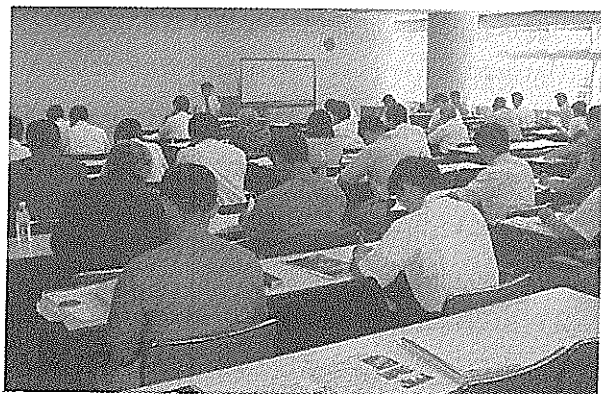
3. その他

①総会・交流会・地域活動等を積極的に行う漁業士が決まっており、活動をほとんど行っていない名前だけの漁業士の対応に苦慮している。

②以前から言われている通り漁業士の知名度・認知度が低い。地域活動（少年水産教室、放流等）で新聞投稿を積極的に行い、一般への周知を図るよう努力する。



パネルディスカッション風景



真剣に講習を受ける漁業士のみなさん



パネルディスカッションにて発表する儀保指導漁業士